

特別展

「かながわへのまなざし」

子ども向けワークブック

展示室で

まる

まる

を

探

そう!

2024年

8月10日(土) ~ 10月6日(日)



神奈川県立歴史博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

# てん じ しつ 展示室で 〇〇 を探そう！



このワークブックは、特別展「**かながわへのまなざし**」を、みなさんが楽しくみてもらえるように作りました。このワークブックを使うと展示会をもっとおもしろくみられるかも！

みていて何か不思議に思ったり、変だなと感じたりしたことをメモしましょう。

気になったことを、ほかの人と話したり、インターネットで調べたりしてみましょう。

必ず「**正解**」をみつけなくても、よく「**みる**」ことが大切です。

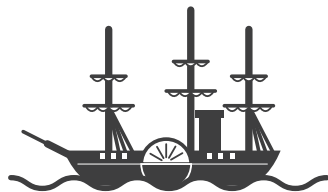
さあ、展示室で〇〇を探してみましょう！



## 博物館でのおやくそく

- 博物館はたくさんの方がきます。みんなが気持ちよく見学できるようにしましょう。
- 展示室では、えんぴつを使いましょう。
- 静かにみたい人がいるので、小さい声でお話ししましょう。
- 走らずゆっくりあるきましょう。
- ケースの外に出ている資料はさわらずに、じっくりみるようにしましょう。
- 食べ物や飲み物、傘などの長いものは展示室にもっていきません。
- 写真がとれるものととれないものがあります。資料のそばの説明をよくみてみましょう。

# ペリー来航と通商条約



**1853年**

7月、今から171年前に、アメリカ合衆国を代表してマシュー・カルブレイス・ペリー提督が、当時最新技術だった「蒸気機関」でうごく船で、現在の神奈川県横須賀市の浦賀沖にやってきました。

ペリーの目的は、①日本と商売をはじめること、②船がこわれたり漂流したりしたときに、食料や水などを提供してアメリカ人を保護すること、③日本のいくつかの港に、蒸気船の燃料になる石炭をおく場所をつくること、の3つを江戸幕府に認めてもらうことでした。

江戸幕府は、そのとき「鎖国」をしていたので、商売はオランダ・中国とだけして、ほかの国と商売をするつもりはありませんでした。ペリーは3つの要求が書かれたアメリカ大統領の手紙を久里浜（横須賀市）で幕府の役人に渡すと、来年その返事を聞きに戻ってくると言って一度日本を離れました。

そして1854年1月、ペリーはまたやってくると、横浜で、アメリカからの3つの要求をどうするかを話し合いました。その結果、幕府は商売することだけは絶対にいやだったので、こわれた船や漂流した人の保護と、石炭をおく場所をつくる、という条約を結びました。

この条約を「日米和親条約」と呼んでいます。

その後、イギリス、ロシア、オランダとも同じような条約を結びました。さらに1858年には、アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとの間に商売もするという条約を結ぶこととなり、外国から多くの商人や旅行者が日本にくるようになりました。

# この人たちを探してみよう その1

ペリーの日本遠征隊は、当時はまだ日本の領土ではなかった琉球りゅうきゅう（今の沖縄県）を訪れ、そこで自分たちとは違う服装や習慣を写真で撮影したり、絵に描き残したりしています。

## 問い その1

ここに描かれたふたりは別の絵にも登場します。どの絵に描かれているか探してみましょう。わかったらこのワークブックの8～13ページの絵に印をつけてみましょう。



展示室内では11-01～11-18の絵のなかにあります。ただし、時期によって展示されていない絵もあります。

Fig. 01 琉球の中流階級の服装 [神奈川県立歴史博物館]

## ひと さが この人たちを探してみよう その2

### 問い その2

ここでは、琉球人3人組がキセル（たばこ）を吸いながらおしゃべりしている様子が描かれています。

この3人組も、キセルは吸っていませんが別の絵にも登場します。

どの絵に描かれているか探してみましょう。

わかったらこのワークブックの8～13ページの絵に印をつけてみましょう。



Fig. 02 午後のおしゃべり（琉球）[神奈川県立歴史博物館]



展示室内では11-01～11-18の絵のなかにいます。ただし、時期によって展示されていない絵もあります。

## この人たちを探してみよう その3

日本遠征隊は、1854年3月31日に幕府と条約を結ぶと、アメリカ人を保護する場所として決められた下田（静岡県下田市）を訪れています。

### 問い その3

この絵は、日本遠征隊が下田を訪れたときに、地元の母と娘を撮影した写真をもとに描いたものです。

右側に描かれたうちわをもった少女(矢印)も別の絵のなかに登場します。

どの絵に描かれているか探してみましょう。

わかったらこのワークブックの8～13ページの絵に印をつけてみましょう。



展示室内では11-01～11-18の絵のなかにいます。ただし、時期によって展示されていない絵もあります。



Fig. 03 母と娘（下田）[神奈川県立歴史博物館]

## ひと さが この人たちを探してみよう その4

### 問い その4

下田の石橋を画家ヴィルヘルム・ハイネ（画面中央）が描いているところを、地元の子どもたちが興味深そうにみています。

ハイネの右側では、赤ちゃんをおぶった女性（黄色の丸部分）も子どもたちと同じようにハイネが描いた絵をみているようです。

この女性も別の絵のなかに登場します。どの絵に描かれているか探してみましょう。

わかったらこのワークブックの8～13ページの絵に印をつけてみましょう。



Fig. 04 石橋と寺院への入口（下田）[神奈川県立歴史博物館]



展示室内では11-01～11-18の絵のなかにいます。ただし、時期によって展示されていない絵もあります。



図版 1 首里城からの帰還 [印刷博物館]



1853年

6月6日、ペリーの日本遠征隊は、琉球を治めていた尚王しやうに挨拶するため首里城しゅりを訪れました。

画面真ん中あたりの山頂のちかくに描かれた首里城から、船が停まっている港へ列をつかって帰る人々が描かれています。



# ルビコン<sup>かわ</sup>川<sup>わた</sup>を渡る

<展示室の11-2、7、12>

## 不思議な

タイトルがつけられた絵です。

日本にルビコン川という川はありません。

今から約2000年前のローマの政治家が、「決して後戻りはできない」という決意をもって渡った川が「ルビコン川」だったとされています。

江戸湾には、幕府が定めた防衛ラインがあり、そこを突破した場合は砲撃することになっていました。アメリカ側はそのことを知っており、アメリカ測量船がまさにそのラインを越えようとしていることから、その防衛ラインを「ルビコン川」にたとえて、砲撃を受けたとしても目的を達成するという強い意志を示すために描かれたものと考えられます。



図版2 ルビコン川を渡る [印刷博物館]

## 1853年

7月14日、アメリカ大統領の手紙を、幕府の代表者へ手わたすため、ペリー率いる日本遠征隊は久里浜（神奈川県横須賀市）に上陸しました。

はじめてアメリカの公式使節が日本に上陸した歴史的瞬間でした。



図版 3 久里浜上陸 [印刷博物館]

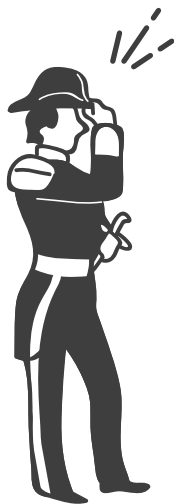


図版4 横浜上陸 [印刷博物館]



## 1854年

3月8日、日本と商売をはじめたかったアメリカの日本遠征隊は、通商条約を結ぶ交渉をするため、横浜に初めて上陸しました。



## 幕府は、

アメリカとの商売は許しませんでした、  
こわれた船や漂流した人の保護と、石炭を  
おく場所をつくることを認めて、はじめて  
条約を結びました。

その後、アメリカの船が入ってよいとされ  
た港の1つ、下田を訪れます。

この絵は、1854年6月8日に、下田に最後に  
上陸したときの様子が描かれています。



図版5 下田上陸 [印刷博物館]



図版6 下田の寺院境内での軍事演習 [印刷博物館]

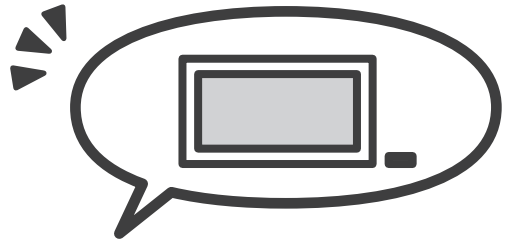


## 最後の

下田上陸となった1854年6月8日には、  
了仙寺りょうせんじというお寺で、アメリカの兵士  
による武器類のおひろめと軍事訓練が  
行われました。

下田の人びともそれをみることに許さ  
れています。

問い  
その5



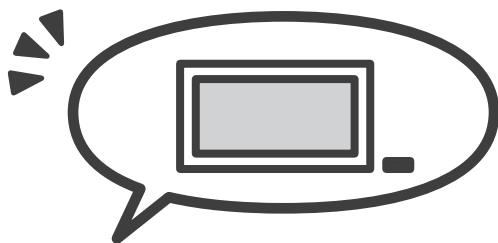
**図版2 ルビコン川を渡る** (展示室の11-2、7、12の絵)

戦う意志がないことを示す白旗を掲げたアメリカ兵が乗るボートと、日本の侍たちが乗る多くの和船が描かれています。日本の人たちはアメリカ船をどうしたいと思っているのでしょうか？

絵から考えられることをまとめてみましょう。



## 問い その6



### 図版3 久里浜上陸 (展示室の11-3、8、13の絵)

で、本来警備をしていなくてはいけない、一番手前に描かれているふたりの武士は何をしているのでしょうか。

想像したことをまとめてみましょう。



令和6年度特別展  
「かながわへのまなざし」  
子ども向けワークブック

展示室で<sup>まる まる</sup>〇〇を探そう！

編著 主任学芸員 嶋村 元宏  
デザイン 棚橋 朝子  
発行 神奈川県立歴史博物館  
〒231-0006 神奈川県  
横浜市中区南仲通5-60  
令和6年8月8日 印刷・発行  
印刷 株式会社野毛印刷社

JAPAN  
CULTURAL  
EXPO 2.0



文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

助成

令和6年度地域ゆかりの文化  
資産を活用した展覧会支援事業

©神奈川県立歴史博物館2024

※資料名称は子どもにわかりやすいように簡略化しました